

11 広報関係

プレスリリース（平成28年度）

組織名 年月日	プレスリリースの内容
森林総合 研究所林 木育種セ ンター H28. 6. 15	タイトル 枯死した国指定天然記念物である「頼朝杉」などの後継樹の里帰り 林木遺伝子銀行110番で増殖、育成した苗木の里帰りについてプレスリリースした。 （要旨） 埼玉県深谷市の市指定天然記念物で枯死した「山茶花」（サザンカ）、栃木県芳賀町立芳賀東小学校の名木「好徳の松」（クロマツ）の後継樹の苗木が各地に里帰りします。
森林総合 研究所林 木育種セ ンター H29. 1. 30	タイトル 成長にも優れた無花粉スギで花粉発生源対策と林業の推進に貢献 開発した成長に優れた無花粉スギ品種についてプレスリリースした。 （要旨） 初期の成長が優れ、花粉を全く形成しないスギ（無花粉スギ）の優良品種「林育不稔1号」を開発しました。「林育不稔1号」は、爽春の花粉を出さない特徴と、精英樹の優れた成長性を兼ね揃えていることから、花粉発生源対策になることはもちろんのこと、林業経営にも資することが期待されます。
森林総合 研究所林 木育種セ ンター・ 九州大学 H29. 2. 13	タイトル 無花粉スギ「爽春」の無花粉遺伝子を有したスギを高い精度で検出できるDNAマーカーを開発 開発した無花粉スギ「爽春」の無花粉遺伝子を高精度に検出できるDNAマーカーについてプレスリリースした。 （要旨） 林木育種センターと九州大学は、無花粉スギ「爽春」の無花粉遺伝子の有無を高精度に検出できるDNAマーカーを開発しました。このDNA マーカーを活用して無花粉遺伝子を有する個体を高精度に特定することにより、無花粉スギの品種改良がこれまで以上に効率的になり、改良のスピードを早めることができます。
東 北 育種場 H29. 3. 31	タイトル 東北地方で初めてカラマツの特定母樹が指定を受けました ー第2世代精英樹から9系統ー 今年度、農林水産大臣から指定を受けた特定母樹についてプレスリリースした。 （要旨） 国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センター東北育種場で開発を行い今年度特定母樹として農林水産大臣に指定されたカラマツについてPRした。東北地方の特定母樹としてカラマツの指定がなされるのは初めてとなります。
関 西 育種場 H29. 3. 24	タイトル：清水寺の桜の後継樹が里帰りー林木遺伝子銀行110番による樹木の増殖サービスー 林木遺伝子銀行110番で増殖、育成した苗木の里帰りについてプレスリリースした。 （要旨） 今回里帰りする後継樹の親木は、京都府京都市の清水寺の桜で、樹高約15m、胸高直径約60cm、推定樹齢は100～150年の桜です。その咲き姿は独特であり、淡い色合いと長い開花期がその特徴です。なお、同じような花の特徴を持つ桜は境内には他になく、境内に植栽された多数の品種の桜とはその特徴が違いため、後継樹育成の依頼がありました。 平成28年2月4日に親木から枝（穂木）を採取し、平成28年3月31日に当育種場で接ぎ木増殖を試みてきました。このほど、増殖に成功し野外に植栽しても生育できる見込みがついたことから、7本を平成29年3月30日に里帰りさせることとなりました。